

## ハイスピードフェスタ・各種目の詳細ルール

各種目の詳細ルールの説明です。通常のハイスピードと同じ部分は割愛いたします。

### 1. ストレート

通常のハイスピードと同じルールですが、コースは直線となります。

### 2. ハーフ

通常のハイスピードをより初心者向けルールにした種目です。  
ハードルの台数は通常の20基から10基に減らした直線コースとなります。  
リードの着用が可能、犬に触っても、手に物を持って失格になりません。またコースの両側にネットを張ります。それ以外は通常のハイスピードのルールが適応されます。

### 3. チェンジ

ハードルの高さをミニとオープンでチェンジして行います。  
ミニチュア部門は30cmのハードル、オープン部門は15cmのハードルとなります。他は通常のハイスピードと同じルールです。

### 4. リバース

スタートとゴールを入れ替え、反時計回りのコースで行います。  
他は通常のハイスピードと同じルールです。

## 5. リレー

昨年は1頭ずつ時計を止めて4頭の合計を競いましたが、今年はリレー形式で進行し、時計を止めず4頭連続で走り4頭目のゴールタイムを計測します。ハードルの高さは、ミニ、混合、団体のすべてにおいて15cmのミニチュアクラスの設定で行います。

### ①スタンバイ

フィールド内には4名4頭が入ることができ、待機位置は自由です。

### ②スタート

第一走者は通常のハイスピードと同様にスタートします。スタートしたら第二走者は愛犬をスタート台の上に乗せるなどスタートの準備ができます。

### ③リレー

第1走者がゴールをしたら、ゴールのスタッフが旗を上げます。それを見たスタートのスタッフが旗を上げます。スタートのスタッフの旗が上がったら、第二走者がスタートできます。スタートのタイミングは柱の間を通過することです。

### ④ゴール

③の要領でアンカーまで走行し、アンカーがゴールするときだけセンサーにより時計が止まり、そのタイムがチームのタイムとなります（ラップタイムは計測できません）。

### ※その他

#### ※リードをっての走行

4ペア連続で走る際、ゴール後にすぐにリードを付ける必要性が出る可能性を考慮し、リレーにおきましてはリードのみ手に持って走ることができます。おもちゃやおやつは不可です。

#### ※失格ペアがでた場合

場外、犬タッチなどでチームメイトが失格となった場合、次走者が走行可能になり次第スタートできます。ゴールタイムに失格となったペアの数×30ポイントが加算されます。

#### ※フライング

ゴールのスタッフの旗が上がる前にスタートを切ったら30秒の加算、スタートのスタッフの旗が上がる前に柱の間を通過した場合10秒の加算ポイントが加算されます。

#### ※ハードルの転倒・大きなすれ

参加犬がハードルに接触し倒したり、大きく角度を変えた場合は、スタッフが機材を修正するまでスタートの旗が上がりませんのでスタートできません。その間時計は止めませんのでタイムロスになります。

#### ※助手

1名で2頭以上走る場合、フィールド内に入る人数が4名以内であれば、家族ではない方がフィールド内に入ることができます。助手はハンドラーのように並走はできず、走り終わった犬を捕まえ持つ。これから走る犬を持つ。などの助手的役割を果たすことができます。なお、スタートをさせるだけなら可能です（ゴールに向かって走ることはできません）。

※チームメイト（4名4頭）以外の方が、ゴールした犬をフィールド外で迎え捕まえることは可能です。その方が競技フィールド内に入るとチームが失格になってしまいます。